

ポイント

◆◆特集◆◆

★平成21年度道路交通管理統計の概要★

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

道路交通管理統計は、毎年、全国の道路管理者に調査のご協力をいただいて作成し、道路の管理体制等を的確に把握するとともに、道路の実態に即した望ましい道路交通管理のあり方を検討するための基礎資料としている。

本稿においては、平成21年度調査の結果について検証し、今後の課題を探る。

◆◆道路法令 Q&A◆◆

★沿道区域について★

(国土交通省 道路局 路政課)

沿道区域について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★イベントスペースとしての道路空間の活用 ～ JR 桜木町駅前広場★

(横浜市 道路局 計画調整部 企画課)

横浜市道路局では、道路の占用許可、使用許可に関する規制緩和や本市の厳しい財政状況を踏まえ、これまで道路空間の有効活用による財源確保に取り組んできました。本稿では、街の賑わい創出や道路施設の維持管理費の確保等を目的に、JR 桜木町駅前広場の道路空間を路上イベントのスペースとして活用する取組についてご紹介します。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★道路管理マニュアルの検討状況について★

(国土交通省 北海道開発局 建設行政課)

北海道開発局においては、公物管理業務のうち特に許認可業務に係る事務処理については、適正な許認可を行うためにも法令や行政規則等による事務処理だけではなく、許認可を行うにあたっての運用面等を体系的に整備した「道路管理マニュアル」を作成し、実務処理の参考書として活用しているところです。本稿では道路管理マニュアルのこれまでの作成状況や今後の改訂作業について紹介させていただきます。

.....

★兵庫県における除雪体制確保の課題と対策について★

(兵庫県 県土整備部 土木局 道路保全課)

兵庫県では、建設業界を取り巻くきびしい経営環境を背景に、地元業者の除雪業務離れが進み、除雪体制の維持に支障が生じていることから、安定的、継続的な道路除雪体制の確保を図るため、受託環境の改善を進めています。

本稿では、本県におけるこれら各種の取組みについて、ご紹介します。

.....

★これからの神戸のみちづくり★

～「みちづくり計画」と「神戸市自転車利用環境総合計画」について～

(神戸市 建設局 道路部計画課)

本稿では、これからの神戸づくりを支える「みち」づくりを市民と行政がともに進めていくための基本的な計画として平成23年3月に策定した「みちづくり計画」と、安全・安心で快適な自転車利用環境並びに歩行環境の実現を図るため、現在策定作業中の「神戸市自転車利用環境総合計画(案)」について紹介します。

◆◆編集後記◆◆

2011年12月10日の夜、日本各地で皆既月食を観測することができました。
幻想的な月の姿をご覧になられた方も多いのではないのでしょうか。

月食とは、太陽―地球―月の順に一直線に並び、月の光る面が、地球の影に入って太陽の光をさえぎるために、一部又は全部にわたって欠けてみえる天文現象です。月食は、満月のときに限ってのみおこりますが、月の軌道と地球の軌道が約 5° 傾いているため、満月のたびに月食にはなりません。月が地球の周りを公転しているために、時間の経過とともに、地球の影に月がすっぽり入ると皆既月食となります。

今回の皆既月食、観測のための条件がよく、北海道から九州にかけての太平洋側を中心に、月食のはじめから終わりまでを観測することができたようです。これは、2000年7月16日以来のことだそう。皆既の時間は約50分。皆既月食中の月は、赤銅色ともいわれ、薄赤く染まります。これは太陽光がうっすらと月面を照らすため、赤くみえるのは、朝焼けや夕焼けの原理と同じように波長の長い赤い光が大気中を通過しやすいためです。

わたしはこの夜、薄赤く染まった幻想的な月を見るため、夜空を見上げていました。

現代科学では、この幻想的な天文現象についての解明がなされ、予測も可能になったことから、わたしたちはこの夜空を楽しむことができるようになりました。しかしながら、天文的な知識がない時代の人にとっては、時間の経過とともに欠け、薄赤く染まっていく月は、不吉な未来の訪れや前触れとなる現象に感じられたことでしょう。

「たとえ明日が世界の終わりであっても、わたしはなお林檎の木を植える」

たとえ全てを失ってしまう明日がくるとしても、ひとりの人間が未来への希望をもち、日々勤め、生きたという事実は決して変わるものではないと思います。

未来への希望をもち続けるとともに、来年は希望で満ちた1年であることを願うばかりです。月に願いを。(U)